

社会保険倶楽部

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-2-8  
五反田佐気ビル4階  
(一財)社会保険協会内  
TEL (03) 5434-8761  
FAX (03) 5434-8762  
E-mail aal95950@nyc.odn.ne.jp  
編集・発行人 米田 英次



第385号 年2回発行 1月号

社会保険倶楽部  
ホームページの開設



「社会保険倶楽部」で検索  
https://syahokurabu.org

私と随筆



愛媛支部 黒瀬 長生

私は、若いころ東京都の職場で六年間勤務し、その後、愛媛県に転勤しました。定年退職後、何をすべきか悩んでいたとき、新聞広告で日本随筆家協会の『随筆講座』を知り、その足で入会し、作家神尾久義先生の指導を受け今日を迎えています。随筆は日常茶飯事が題材ですが、今までに何とか九冊の拙本を上梓することが出来ま

愛媛県今治市の来島海峡は、鳴門海峡、関門海峡とともに「日本三大急流」のひとつといわれています。十ノットに達する潮流は場所と時間によって変化するた

め海の難所として知られ、春の大潮になると中水道では直径十メートルの渦を巻き、ゴウゴウと潮音をたてる。今では、この海峡をまたぐように「しまなみ海道」西瀬戸自動車道が、尾道市から今治市までの全長五九キロを結ぶ国道三二七号の自動車専用道路が通っている。

来島海峡は、自宅から車で二十分の所にあるので、気分が爽やかならば、尾道市から今治市までの全長五九キロを結ぶ国道三二七号の自動車専用道路が通っている。

大阪や九州地区への物流は、この海峡を通らなければならぬのである。まさに、この来島海峡は我が国経済の首根っこだと思つたとその凄さに驚かされている。

この海峡は約四キロで大小の島々が点在し、その島々が縫うように、三つの水道が通っている。東水道には来島第一大橋、中水道には来島第二大橋、西水道には来島第三大橋が架かり、最長は来島第三大橋の一五七〇メートルである。

これらの橋は、この展望台からは見上げる格好になるが、橋脚の主塔の高さは一七八メートル、海面から道路までの航路高は六五メートル、また、主塔をつなぐケーブルの大きさは直径六五センチの巨大な建造物である。そのため橋を通る車が豆粒のように見える。これほどの大きな橋を完成させた我が国の技術力に敬服するしかない。

来島海峡と航行する船舶、そこに架かる来島大橋の光景は一幅の絵面である。その景観の虜になる方が多い。ピルと車と人の波で、心の休まる環境ではない。ここで見気を取り戻して大阪に帰ると心身ともに快適になる。あなたは今、こんな素晴らしい景観が近くにあることに幸せですね。

思いも寄らない会話であった。たしかにこの来島海峡の眺めは見事で飽きることがない。それをわざわざ、大阪からマンションを借りてまで、心を癒している方がいるのである。

私のように、その近くに住んでいると、ついついそのすばらしさを見落としがちである。あらためて来島海峡を眺めると、潮流の速さや整然と進む船舶はもうろんだが、見え隠れする砲台跡の島、来島海賊の島、今治藩の馬の放牧の島など、点在する島々の歴史に思いを馳せるのも一興である。

まさに、「えひめ感動の地」第一位に選ばれているのも当然である。

(創風社出版『随筆住みたい田舎』より抜粋)

随筆らしきものを書き始めて二十二年になります。こんなに長きにわたって開くとは思いませんでしたが、それは随筆の妙味に取り付かれたからです。

私たちは日々、悩みや疑問、不安や希望を抱えながら生活していますが、時に、その本質を見極めたくありません。そのためそれらを文章として記述し、推敲を繰り返すことによって、なるほどそうかと解決の糸口にたどり着くことが出来るから不思議です。

私も喜寿を過ぎ、それもいつまで続くかわかりませんが、日常の新たな出会いに巡り合うとうれしくなつて筆が進みます。ありがたい限りです。



令和7年の新年を迎えて

社会保険倶楽部 世話人代表 幸田 正孝

あけましておめでとうございます。皆さまお揃いで輝かしい令和7年を迎えられたことと存じます。

まず、昨年7月、5年に一度の公的年金制度の財政検証が発表されました。所得代替率は現在の61.2%と57.6%との低下するものと低下率は前年から改善している結果となりました。また、適用拡大や基礎年金

の拠出期間延長などのオプション試算が示され、年金制度改正に向けて検討が始まりました。

さらに昨年10月、3年ぶりの衆議院議員選挙があり与野

の適用拡大や第3号被保険者制度を念頭に置きたいいわゆる「年取の壁」の対応が始まりました。

また、国外に目を向けるとトランプ大統領が再選され、

改め、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

今後とも活躍よろしくお願ひします。

さて、社会保険倶楽部の各支部の活動については、本会報誌に多くの寄稿が寄せられ会員の楽しいそうなお話が聞こえてくるようです。とくに

転換も含め再三訪れる。展望台からの眺めは絶景である。狭い海峡の青い海を大小の船が次々と航行する。船は右側運航が基本だが、この海峡では潮流が激しいので、潮の流れによって右側運航か左側運航かを海上交通センターが指示し、その指示に従って各船は整然と進む。

この海峡は約四キロで大小の島々が点在し、その島々が縫うように、三つの水道が通っている。東水道には来島第一大橋、中水道には来島第二大橋、西水道には来島第三大橋が架かり、最長は来島第三大橋の一五七〇メートルである。

これらの橋は、この展望台からは見上げる格好になるが、橋脚の主塔の高さは一七八メートル、海面から道路までの航路高は六五メートル、また、主塔をつなぐケーブルの大きさは直径六五センチの巨大な建造物である。そのため橋を通る車が豆粒のように見える。これほどの大きな橋を完成させた我が国の技術力に敬服するしかない。

来島海峡と航行する船舶、そこに架かる来島大橋の光景は一幅の絵面である。その景観の虜になる方が多い。ピルと車と人の波で、心の休まる環境ではない。ここで見気を取り戻して大阪に帰ると心身ともに快適になる。あなたは今、こんな素晴らしい景観が近くにあることに幸せですね。

思いも寄らない会話であった。たしかにこの来島海峡の眺めは見事で飽きることがない。それをわざわざ、大阪からマンションを借りてまで、心を癒している方がいるのである。

私のように、その近くに住んでいると、ついついそのすばらしさを見落としがちである。あらためて来島海峡を眺めると、潮流の速さや整然と進む船舶はもうろんだが、見え隠れする砲台跡の島、来島海賊の島、今治藩の馬の放牧の島など、点在する島々の歴史に思いを馳せるのも一興である。

まさに、「えひめ感動の地」第一位に選ばれているのも当然である。

(創風社出版『随筆住みたい田舎』より抜粋)

随筆らしきものを書き始めて二十二年になります。こんなに長きにわたって開くとは思いませんでしたが、それは随筆の妙味に取り付かれたからです。

私たちは日々、悩みや疑問、不安や希望を抱えながら生活していますが、時に、その本質を見極めたくありません。そのためそれらを文章として記述し、推敲を繰り返すことによって、なるほどそうかと解決の糸口にたどり着くことが出来るから不思議です。

私も喜寿を過ぎ、それもいつまで続くかわかりませんが、日常の新たな出会いに巡り合うとうれしくなつて筆が進みます。ありがたい限りです。

改め、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

今後とも活躍よろしくお願ひします。

さて、社会保険倶楽部の各支部の活動については、本会報誌に多くの寄稿が寄せられ会員の楽しいそうなお話が聞こえてくるようです。とくに

改め、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

また、男性は身の上話を始めた。「大阪で小児科医をしているが、今は息子に代わりをしたので月の半分程度は診療し、それ以外は自由放免で、この近くにマンションを借り、ヨンを借り、毎日のようにここに来て来島海峡を眺めている」

これぞ優雅な生活だと感心したが、続けて男性は言った。

「大阪にはこんな場所は無い。ピルと車と人の波で、心の休まる環境ではない。ここで見気を取り戻して大阪に帰ると心身ともに快適になる。あなたは今、こんな素晴らしい景観が近くにあることに幸せですね。」

思いも寄らない会話であった。たしかにこの来島海峡の眺めは見事で飽きることがない。それをわざわざ、大阪からマンションを借りてまで、心を癒している方がいるのである。

私のように、その近くに住んでいると、ついついそのすばらしさを見落としがちである。あらためて来島海峡を眺めると、潮流の速さや整然と進む船舶はもうろんだが、見え隠れする砲台跡の島、来島海賊の島、今治藩の馬の放牧の島など、点在する島々の歴史に思いを馳せるのも一興である。

まさに、「えひめ感動の地」第一位に選ばれているのも当然である。

(創風社出版『随筆住みたい田舎』より抜粋)

随筆らしきものを書き始めて二十二年になります。こんなに長きにわたって開くとは思いませんでしたが、それは随筆の妙味に取り付かれたからです。

私たちは日々、悩みや疑問、不安や希望を抱えながら生活していますが、時に、その本質を見極めたくありません。そのためそれらを文章として記述し、推敲を繰り返すことによって、なるほどそうかと解決の糸口にたどり着くことが出来るから不思議です。

私も喜寿を過ぎ、それもいつまで続くかわかりませんが、日常の新たな出会いに巡り合うとうれしくなつて筆が進みます。ありがたい限りです。

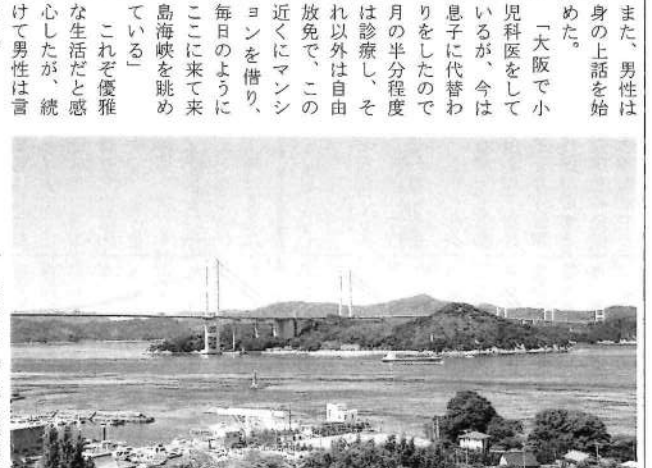
改め、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

今後とも活躍よろしくお願ひします。

さて、社会保険倶楽部の各支部の活動については、本会報誌に多くの寄稿が寄せられ会員の楽しいそうなお話が聞こえてくるようです。とくに

改め、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

今後とも活躍よろしくお願ひします。



来島海峡





①(中期目標期間の評価結果)

先ず、中期評価について見ると18項目中、計画上の目標を上回ったとして「A評価」とされた項目は7個、目標を概ね達成したとして「B評価」とされた項目は11個となっており、「S評価」及び「C評価」、「D評価」は0個となっています。

②(令和5年度の評価結果)

一方、令和5年度評価については、計画上の目標を大幅に上回ったとして「国民年金の保険料収納対策」が「S評価」、「厚生年金保険・健康保険等の適用促進対策」の他5項目が「A評価」、「国民年金の適用促進対策」のほか10項目が「B評価」となっています。

③(中期目標期間の評価ポイント)

第3期中期目標期間の実績のうちA評価以上の項目を中心に評価のポイントをご紹介します。

○国民年金の保険料収納対策

国民年金保険料の現年度納付率は令和元年度の69.3%から令和5年度には77.6%となり「中期目標期間中に70%前半半を目指す」とした第3期中期計画の目標を達成しました。

また、最終納付率についても令和元年度の76.3%から令和5年度は83.1%となり、「中期目標期間中に70%後半半を目指す」とした目標を達成しました。

この間、未納者の属性に応じて効果が高い未納者層や取り組みを強化すべき未納者層を見極めて、効果的・効率的な取組を実施しました。

令和元年度には納付率の低い沖縄県を底上げする「沖縄プロジェクト」の発足、令和3年度は大都市圏で未納者の多い年金事務所において職員増員等体制強化を図るなど地域の実情を踏まえた取組を実施しました。

こうした取組の結果、最終納付率(令和3年度分保険料)が目標としていた80%を大幅に上回る83.1%となったことや、現年度納付率(令和5年度分保険料)が前年度実績(76.1%)を上回る77.6%となり、現年度納付率12年連続、最終納付率11年連続の前年度比上昇となったことなどにより積極的達成を認め「S評価」となりました。

○厚生年金保険・健康保険等の適用促進対策

国民年金の適用促進対策をベースに未適用事業所数を官定に減少させ、令和元年度から令和5年度までに延べ48万5千事業所、95万8千人を適用しています。

230万2千人増加し約4,210万人となるなど着実に成果を上げています。また、適用事業所に對する臨場・呼出・郵送等の手法を組み合わせた調査により、令和元年度から令和5年度までに延べ約103万事業所、約3,137万人の調査を実施しました。

○厚生年金保険・健康保険等の保険料徴収対策

徴収についてはコロナ禍における政策的要請として施行された納付猶予特例に対応した結果、収納率が低下しましたが、法定額引制度への切替えや事業所の状況に応じた納付計画の策定に取り組みました。これにより、収納率は令和2年度を除き前年度と同率以上という目標を上回り、令和元年度から90%台後半を維持し、コロナ禍前の収納率のピークである99.1%への回復に向けた道筋も見えてきた状況です。

○年金給付

迅速な支給決定につとめることでサービススタンダードは達成率90%以上を維持し、最も請求件数の多い老齢年金(1ヶ月以内)については全期間97%に達したこと、年金請求書や年金請求のお知らせを交付するとともに、未請求者に対する新たな請求勧奨を行いました。

○年金制度改正等への対応

年金生活者支援給付金について、ターンアラウンド形式による簡易な請求方法により支給を行ったことや、短時間労働者の適用拡大について事業所訪問等を通じた丁寧な制度周知により適用に繋がったこと等、各改正事項について円滑な施行に向けた取り組みを行いました。

○ICT化の推進

電子申請の利用促進に取り組み、令和5年度における被保険者51人以上の事業所等の電子申請利用割合は86.3%(令和元年度比+54.5%)、主要7篇書の電子申請割合(全事業所の被保険者ベース)は70.4%(令和元年度比+46.5%)まで向上しました。

また、オンライン事業所年金情報サービスの開始(令和5年1月)や国民年金の加入手続き・保険料の免除申請等の簡易な電子申請を実現しました。

○人事及び人材の育成

女性活躍推進・働き方改革への取組を進めた結果、女性管理職比率は令和6年4月に17.4%(令和5年度末の目標15.5%)、男性職員の育児休業取得率は令和5年度で75.23%(令和5年度末の目標30.0%)となったほか、職員一人当たりの時間外勤務時間を月平均で10時間44分(令和元年度比▲12時間9分)まで削減することができ機務発足後初めて「A評価」となりました。

④(その他)

最後に毎年のお祝いとなりますが、「年金委員への参加」についてとなります。地域型年金委員に対して、都道府県単位の「都道府県地域型年金委員連絡会」と年金事務所単位の「地区連絡会」を開催し、年金委員と年金事務所間の情報共有、活動依頼、支援事業の伝達及び年金委員相互間の情報共有を図るなど取り組みの強化を図っています。

協会けんぽから

最近の動向について

平素からの会員みな様のご厚情に感謝申し上げます。昨年、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に始まった年でありました。そのうえ、9月には令和6年(2024年)奥能登豪雨が発生し、被災地においては、現在も多くの人が避難生活を余儀なくされておられます。被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、協会けんぽを取り巻く情勢としましては、さる12月2日より、保険証の新規発行を終了し、マイナ保険証への移行が本格化いたしました。協会けんぽにおいては、引き続きマイナ保険証の利用をお願いするとともに、昨年9月に全加入者、約3,900万人に対して、「資格情報のお知らせ」を送付しました。本年9月には、マイナ保険証をお持ちでない等の加入者のお知らせ、資格確認書のみならず、「資格確認書」を送付し、今後の保険給付に支障をきたさない措置を図っております。

昨年9月の「資格情報のお知らせ」の送付を契機として、協会けんぽでは、22か国対応のマイナンバー専用ダイヤルを開設し、加入者の皆さま等からのお問い合わせに丁寧に対応してまいりました。引き続き、健康保険証の使用に関する経過措置が終了する本年12月1日まで、同専用ダイヤルを設置し、保険者としての責務をしっかりと果たして参りたいと思っております。

さて、事業推進においては、協会けんぽ自身の行動計画である第6期保険者機能アップアクションプラン(令和6年度〜令和8年度)がスタートし、「基盤的保険者機能」、「戦略的保険者機能」、「保険者機能の強化を支える組織・運営体制等の強化」を三つの柱として取り組みを進めております。

「基盤的保険者機能」においては、施策のひとつである「加入者サービスの向上」においては、受付からお支払いまでの標準処理期間を10日以内とする、サービススタンダードを協会設立時から設定しておりますが、システム改修や支所の努力により、昨年はこれまでの全支所平均が5日台まで短縮が図られております。今後も、効率化を進めつつ、正確で迅速な事務処理に努めてまいります。

また、「戦略的保険者機能」においては、令和6年度に付加健診の対象年齢拡大と「被扶養者の集団健診時のオプショナル健診の拡充(骨粗しょう症検査・歯科検診・眼底検査)」を図り、令和7年度から「胸部X線検査結果に基づき受診勧奨」を新たに実施する予定です。加入者の皆さまが、健康で働き続けられるよう、令和8年度以降も、若年層を対象とした健診の実施や、人間ドックに対する補助の実施等、新たな施策の導入も予定しております。

最後に、「保険者機能の強化」においては、今後急務の強化とされている生産年齢人口の減少は、経済にも大きな影響を及ぼすことから、安定的な協会けんぽの運営を行うために、人材の確保を重点的に取り組んでまいります。

協会けんぽにおいても、内外の動きに迅速かつ適切に対応し、協会けんぽの基本使命を果たせるよう取り組みを進めてまいります。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げますとともに、会員みな様にとりまして、より良き一年でありますことを、心よりお祈りいたします。

社会保険診療報酬支払基金の現状 (医療DXと支払基金)

支払基金の担う役割の変化 支払基金は、昭和23年に特設として設立され、平成15年に民間法人化されて、現在に至っております。しかし、社会構造全体のグローバル化という変容の中、平成28年頃を境に、規制改革推進会議の場などで、審査支社業務自体のあるべき姿と組織のあり方について、様々な検討・協議がなされ、支払基金自体の変革が求められてきました。

こうした検討・協議の過程において、支払基金の基幹業務である「審査支払業務の効率化」が求められると同時に、医療にかかめる「ビッグデータ」の活用といった新たな業務についてもどのように向き合っていくかについても示唆されてきたところです。

その後、支払基金は審査支社業務の効率化を目指し、令和3年の審査支払システムの刷新により、審査プロセスへ変化の中、国民生活において、働き方改革の推進を柱として取り組んでまいりました。加えて、運営の戦略方針として、三つのキーワード(Dの強化)において、今後急務の強化とされている生産年齢人口の減少は、経済にも大きな影響を及ぼすことから、安定的な協会けんぽの運営を行うために、人材の確保を重点的に取り組んでまいります。

医療現場における診療や投薬、検査などといった医療関連情報に関するデータの迅速な収集と提供が求められるようになり、これを可能とするシステムの基盤整備が求められるようになってきました。これを契機に、政府を中心とした医療DXの議論が高まり、「医療DX令和ビジョン2030」といった政策が示され、これを実行するための三本柱として「全国医療情報プラットフォームの構築」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」といった取組みが示されたところです。

「医療DXと支払基金」この医療DXの取組みを進める上では、医療機関、保険者、地方自治体などといった多くの医療関係者を繋ぐネットワークの重要性が高くなり、こうした社会的インフラを運用し、支えてきた支払基金に焦点があたるのも、やむを得ないところではなかったかと受け止めています。

現在、支払基金では、「全国



秋田支部 春のゴルフコンペ



秋田支部 秋のゴルフコンペ

秋田支部 春のゴルフコンペ  
 優勝 嶋崎 俊美  
 第2位 横野 勉

秋田支部 秋のゴルフコンペ  
 優勝 渡邊 健一  
 第2位 石川 雄司  
 第3位 加藤 裕一

〔秋田支部〕  
 (春のゴルフコンペ)  
 倶楽部会員の親睦を深めるため、令和6年6月17日に「春のゴルフコンペ」を「秋田市太平洋山カントリークラブ」において10名参加の下開催しました。今回は17回目の大会となりましたが、当日は天候に恵まれ、渡邊支部長の開会宣言のあとスタートし、久しぶりの再会に皆さん大いに盛り上がっていました。プレー終了後は成績発表が行われました。入賞者は次のとおり(敬称略)

第3位 石川 雄司  
 (秋のゴルフコンペ)  
 春の大会に引き続き、令和6年10月7日に「第18回ゴルフコンペ」を「秋田市太平洋山カントリークラブ」において7名参加の下開催しました。渡邊支部長の開会宣言のあとスタートし、途中で降り出した雨の影響もあってかハブニングの多い試合となりましたが皆さん大いに盛り上がっていました。プレー終了後は成績発表が行われました。

# 支部だより

〔3頁の続き〕  
 医療情報プラットフォームの構築」の前提となるマイナ保険証の利用環境の整備として、今までの被用者保険等の加入者に加えて、生活保護における医療扶助受給者などを、資格確認の利用対象として拡大するためのシステム改修や、訪問診療等や柔道整復等施術所等においてもオンライン資格確認システムを利用可能とするといった用途拡大のためのシステム改修を行い、多様な場面でオンライン資格確認の導入に向けた取組を進めています。

このように、オンライン資格確認等システムの周辺環境を整えつつ、「全国医療情報プラットフォーム」の中核となる「電子カルテ情報共有サービス」の開発を進め、三文書(診療情報提供書・退院時サマリー・健診結果報告書)六情報(傷病名・アレルギー・感染症・薬剤禁忌・検査・処方)を医療機関や薬局において共有することができるよう取組んでいるところです。

一方、「標準型電子カルテ」の開発はデジタル庁が中心となって厚労省医政局とも連携し、開発が進められているところであり、「電子カルテ情報共有サービス」との連携も予定されているところでもあります。

また、「診療報酬改定DX」では、医療機関等のベンダが共通で使える診療報酬の算定や患者の窓口負担金の計算ができる電子計算プログラムである、「共通算定モジュール」の開発を進め、医科・DPCについては、令和7年度の本稼働に向けて、取組を進めています。

今後とも会員の親睦を深める行事を開催する予定です。入賞者は次のとおり(敬称略)  
 優勝 渡邊 健一  
 第2位 石川 雄司  
 第3位 加藤 裕一  
 優勝 長尾茂さん



福島支部 ゴルフコンペ

〔福島支部〕  
 (ゴルフコンペ)  
 福島支部では、毎年3回のゴルフコンペを楽しんで開催しています。今年も大盛況で、5月27日に第96回、9月30日に第97回、そして10月28日に第98回を無事に開催することができました！来年はついに記念すべき第100回を迎える予定です。

毎回10人前後の参加者で、和気あいあいとした雰囲気の中で、みんなで楽しくプレイしています。健康を大切にしながら、もちろん優勝を目指して一生懸命に頑張る姿が印象的です。今年は、新たに木谷豊さんと石井宏喜さんが参加してくださり、より一層賑やかにになりました！成績は以下の通りです。

優勝 長尾茂さん



群馬支部 ゴルフコンペ

〔茨城支部〕  
 (総会)  
 令和6年度総会が5月29日(水)に「ホテルレイクビュー(水)」において、19名の出席のもと、開催されました。

総会は、鈴木支部長の開会挨拶で始まり、次に、日本年金機構水戸北年金事務所の長谷川所長より挨拶をいただきました。長谷川所長の挨拶では、日本年金機構の取組みや年金行政を取り巻く情勢等のお話を聞くことができ、年金制度の運営を支える後輩たちの頑張る姿を知ることができました。

議案審議では、令和5年度事業報告及び



群馬支部 会員交歓会

〔群馬支部〕  
 (ゴルフコンペ)  
 令和6年9月27日に

伊香保国際カントリー倶楽部告、続いて、令和6年度事業計画案の参加のもとに秋季のゴルフコンペを開催いたしました。案が提案され、審議の結果、すべて原案どおりに承認されました。

議事終了に引き続き古稀祝贈呈式が開かれ、今年度、めでたく古稀を迎えられた、矢口和也様、瀬谷洋様に、記念品の贈呈が行われました。なお、ご都合により総会へ出席いただけなかった狩谷勝俊様、野村誠志様には、後日、郵送にて記念品等を贈らせていただきました。

総会終了後、同会場にて懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中、近況報告など歓談が盛んに行われ、会員相互の親睦を深め合うことができました。

優勝 平田光義さん  
 飛賞(第5位) 片寄隆司さん  
 第97回  
 優勝 大森勝壽さん  
 準優勝 星善作さん  
 飛賞(第4位) 木谷豊さん  
 第98回  
 優勝 篠原孝男さん  
 準優勝 長尾茂さん  
 飛賞(第5位) 片寄隆司さん

優勝 齊藤 一弘  
 準優勝 柳澤 孝彦  
 第3位 星野 義明  
 ベスグロ 小熊真知夫 88

「最後に」  
 現在、国の医療保険部会等で、支払基金が行っているレポート収集・分析やオンライン資格等確認システムの基盤を開発等の経験やノウハウを生かす観点から、審査支払機能に加えて、医療DXに関するシステムの開発・運用主体の母体とし、本格的に改組するといった議論がなされ、支払基金に対して、大きな期待が寄せられており、その期待に応える組織として、取組を進めていきたいと考えています。

今後とも支払基金の業務運営に対するご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。



茨城支部 総会  
 び収入支出決算報告、続いて、令和6年度事業計画案の参加のもとに秋季のゴルフコンペを開催いたしました。案が提案され、審議の結果、すべて原案どおりに承認されました。

議事終了に引き続き古稀祝贈呈式が開かれ、今年度、めでたく古稀を迎えられた、矢口和也様、瀬谷洋様に、記念品の贈呈が行われました。なお、ご都合により総会へ出席いただけなかった狩谷勝俊様、野村誠志様には、後日、郵送にて記念品等を贈らせていただきました。

総会終了後、同会場にて懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中、近況報告など歓談が盛んに行われ、会員相互の親睦を深め合うことができました。





千葉支部 後期ゴルフ大会

優勝 氏家 満
準優勝 山本 秋夫
第3位 鈴木 清
(女性同好会)
令和6年度の親睦行事として、令和6年10月23日(水)の正午より、千葉支部女性同好会による会食が開催されました。当日は、千葉市内

が、令和6年11月8日、会員33名の出席のもと、「ホテルラシーネ新前橋(旧・群馬厚生年金会館)」において開催されました。コロナ禍にあつて中断していた交歓会ですが、今回は再開して二年目となりました。齊藤支部長の開会の挨拶に始まり、日本年金機構前橋年金事務所副所長と全国健康保険協会群馬支部の岡田支部長から挨拶と社会保険の現状説明をいただきました。続いて、支部事業の「長寿祝」「金婚祝」「功労祝」と本部事業の「古希祝」に該当する会員が紹介されるとともに、齊藤支部長から記念品が贈呈され、会員皆から祝福の大きな拍手が贈られました。懇親会は、支払基金群馬審査委員会事務局の山田事務局長の乾杯の発声により始まり、久しぶりの再会に、近況などを語り合いながら酒を酌み交わし大いに盛り上がりました。散会を惜しむ中、再会を約束し、狩野副支部長の三本締めでお開きとなりました。



千葉支部 女性同好会

(千葉支部)
(後期ゴルフ大会)
令和6年度の親睦行事として、前期のゴルフ大会に引き続き、後期ゴルフ大会が予定どおり開催されました。行楽シーズン突入の時期でありましたが、皆様スケジュール調整していただき、16名の少数精鋭での開催となりました。当日は、参加者の日頃の行いが良いせいで、快晴無風の絶好のゴルフ日和となりました。結果等については次のおりです。
開催日 令和6年10月22日
於本 ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース



東京支部 ゴルフコンペ

優勝 三浦 正孝
準優勝 植松 利文
第3位 齊藤 紀男
ベストグロス

(古稀祝賀会)
令和6年11月6日(水)、千葉支部会員で古稀を迎えられた方々をお招きして、幸田世話人代表からの祝辞と記念品の伝達、並びに午餐会を開催いたしました。この度の古稀祝賀については、昭和28年度生まれの方々6名にご参加いただきました。



千葉支部 古稀祝賀会

(ゴルフコンペ)
当支部では、会員相互の親睦を図るため、毎年ゴルフコンペを開催しています。本年度のコンペは11月8日に埼玉県入間郡の「オリムピックナショナルゴルフクラブEAST」において開催し、会員30名が参加しました。絶好の秋晴れの中、齊藤副支部長の開会挨拶の後、各グループがエーデルワイスコースとオーキッドコースに分かれスタートしました。起伏のある難コースでしたが、紅葉に囲まれ、笑い声が響き渡る楽しいラウンドとなりました。

当日は、普段なかなかお会いできない方が、それぞれの近況報告や昔の仕事での失敗談など、おしゃべりに花が咲き、楽しい午餐会となりました。写真は、手前左より、風巻芳正様、富田英一支部長、吉原昇様、右手前より、目良茂様、渡辺武男様、片岡雪江様、原田幸様となります。

その後、セミナー終了後、会場にて懇親会が行われ、短い時間で盛況のうちに終了しました。(ゴルフ大会)
10月17日(木)、紫カントリークラブ「あやめコース」西コースにおいて開催しました。昨年に続き若い年代の皆様の参加の多き盛会に開催されました。

(霞が関支部)
(支部総会・会員セミナー)
7月25日(木)午後2時から東貨健保会館ホールにて、46名参加の支部総会が開催され、「令和5年度事業報告と収支決算」「令和6年度事業計画と収支予算」及び支部の住所変更に伴う「霞が関支部規約の一部改正」が諮られ承認されました。



霞が関支部 ゴルフ大会

その後、セミナー終了後、同日50名の参加のもと元全日空専務取締役運輸本部長の高田正彦先生から「羽田空港JAL旅客機と海上保安庁航空機衝突事故から考える」と題してお話しいただき、大変有意義なセミナーでした。また、セミナー終了後、会場にて懇親会が行われ、短い時間で盛況のうちに終了しました。(ゴルフ大会)
10月17日(木)、紫カントリークラブ「あやめコース」西コースにおいて開催しました。昨年に続き若い年代の皆様の参加の多き盛会に開催されました。

当日は、快晴で絶好のゴルフ日和となり、また、新しいメンバーの参加も多数あり、プレーの合間には近況を話し合ったりしながら和やかな大会となりました。終了後の表彰式は、短時間ではありましたが、菊池亮さんがアウトの1番ホール(パ14)でイーグルを出されたプレー場面などを振り返りながら大いに盛り上がり無事終了しました。入賞者等は次のとおりです。
優勝 矢野 厚志さん
準優勝 五味 國光さん
第3位 齋藤 一春さん
ベストグロス 小林 武さん



霞が関支部 麻雀大会

(麻雀大会)
11月9日(土)11時から、新橋の「新雀荘」にて20名の参加のもと麻雀大会を開催しました。参加者には「高齢の方や、久しぶりに牌を握る方、また若い年代の方の参加者も多くおられ、皆さん和やかにゲームを楽しまれました。上位入賞者は次の方々です。

(新湊支部)
(総会)
令和6年度新湊支部総会が、6月19日(水)「万代シルーバーホテル」において、16名の出席のもと開催されました。総会に先立



霞が関支部 ゴルフ大会



新湊支部 総会

(新湊支部)
(ウオーキング)
第4回ウオーキングを令和6年10月10日(木)に「小田原城址公園」で11名が参加して開催されました。小田原城天守閣及びサラムアイ館を見学した後には昼食となり、近況報告や現役時代の思い出話等盛り上がり、昼食後、記念写真の撮影と



神奈川支部 ウオーキング

ち、前回総会以降にお亡くなりになられた会員の方々に對し、「冥福をお祈りし、黙禱を行いました。
総会は、小川支部長の挨拶に始まり、議案審議では異動に伴う副支部長3名の選任、令和5年度事業報告及び収支決算報告、令和6年度事業計画及び予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。議案審議のあと、選任された3名の副支部長、及び「挨拶をいただいた副支部長、本日欠席された本年古稀祝賀該当者2名のご紹介を行い、総会は無事終了いたしました。(6頁に続く)

支部だより

(5頁の続き)

総会終了後は、記念撮影のあと、高橋全国健康保険協会新潟支部長の挨拶に続き、坂詰新潟四年金事務所長の乾杯の音頭で懇親会に移りました。会場には、欠席された会員からいただいた近況報告が貼られたり、出席された皆様は、お一人お一人の近況を興味深く確認していました。懇親会では、出席者一同久しぶりの再会で、お互いの近況や昔話など談笑し、終始楽しく和やかな雰囲気の中で、親睦が図られました。

最後に、阿部社会保険診療報酬支払基金新潟審査委員会事務局長の締めで、また次回再会を楽しみにしながら、盛会裏にお開きとなりました。

（福井支部）  
（総会）  
令和6年度の支部総会ならびに懇親会が6月21日（金）

（山梨支部）  
（ゴルフコンペ）  
WELL AUSSUにおいて、当支



福井支部 総会

当支部では、毎年秋にゴルフコンペを開催しております。  
令和6年10月18日（金）にゴルフ日和のもと13名が参加され、レイクウッドゴルフクラブ明野コースにおいて開催されました。久しぶりの再会する会員との親睦を図りつつ、難しいグリーンに悩まされながらも大きい

（教養講座）  
当支部は、毎年11月に健康づくり事業として、教養講座（日帰りバスハイク）を開催しております。  
令和6年11月9日（土）に会員29名参加のもとウオーキング日和の中、碓氷峠第三橋梁（めがね橋）を訪れ紅葉の中を散策しアプト式鉄道の歴史を学びました。また、峠の釜めし発祥の「おぎのや横川店」での昼食時には現役時代の思い出話や近況等で盛り上がりしました。少林山達磨寺に参拝し記念撮影を行い、ガトーフェスタ・ハラダでの工場見学と家族へのお土産を買った。また、任期满了に伴う役員改

（静岡支部）  
（支部総会）  
令和6年度の支部総会が、7月5日（金）、静岡市葵区のバルシェにおいて23名の会員の出席のもと開催されました。開会に先立ち、昨年度中に逝去された4名の会員の霊に



静岡支部 総会



京都支部 総会



大阪支部 ゴルフコンペ

部最長老の松山義雄さん（93歳）をはじめ31名の方に出席いただき開催いたしました。はじめに行き、続いて日本年金機構福井年金事務所谷口所長、全国健康保険協会福井支部前田支部長よりそれぞれ現況報告を交えたご挨拶をいただきました。  
総会では、令和5年度事業及び収入支出決算報告、会計監査報告、令和6年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について決議し、いずれも原案どおり承認されました。総会終了後、引き続き懇親会へと移り、坂田容子さんの乾杯のご発声により開宴となりました。約2時間半の時間ではございましたが、和やかな雰囲気の中、笑顔と笑顔が千鳥足になりながら、相互の親睦が深められたひと時でした。最後に、今年「喜寿」を迎えられた橋本和幸さんの中締めで会は盛会裡にお開きとなりました。

（山梨支部）  
（ゴルフコンペ）  
山梨支部は、毎年11月に健康づくり事業として、教養講座（日帰りバスハイク）を開催しております。  
令和6年11月9日（土）に会員29名参加のもとウオーキング日和の中、碓氷峠第三橋梁（めがね橋）を訪れ紅葉の中を散策しアプト式鉄道の歴史を学びました。また、峠の釜めし発祥の「おぎのや横川店」での昼食時には現役時代の思い出話や近況等で盛り上がりしました。少林山達磨寺に参拝し記念撮影を行い、ガトーフェスタ・ハラダでの工場見学と家族へのお土産を買った。また、任期满了に伴う役員改

（静岡支部）  
（支部総会）  
令和6年度の支部総会が、7月5日（金）、静岡市葵区のバルシェにおいて23名の会員の出席のもと開催されました。開会に先立ち、昨年度中に逝去された4名の会員の霊に

（京都支部）  
（支部総会）  
令和6年度の支部総会が、7月5日（金）「ホテル日航ブリッセス京都」において27名の出席により開催されました。

（大阪支部）  
（ゴルフコンペ）  
当支部では、年に一度、ゴルフ同好会によるゴルフコンペを開催しています。同好会世話人の石田正雄さんから、長谷川支部長より伝達式に出席された2名に、幸田正孝世話人代表の祝詞及び記念品が贈呈され、出席者からお祝いの拍手を受けられました。引き続き、長谷川支部長の挨拶で始まり、副支部長である日本年金機構中田兵庫事務センター長、全国健康保険協会からは所用のため欠席され

（兵庫支部）  
（夏季総会）  
令和6年度夏季総会を、8月2日に「ホテル北野プラザ六甲荘」において、53名の会員の出席のもと、盛大に開催しました。まず初めに、古稀の寿の伝達式が行われ、このたび古稀を迎えられた4名の方々の披露があり、長谷川支部長より伝達式に出席された2名に、幸田正孝世話人代表の祝詞及び記念品が贈呈され、出席者からお祝いの拍手を受けられました。引き続き、長谷川支部長の挨拶で始まり、副支部長である日本年金機構中田兵庫事務センター長、全国健康保険協会からは所用のため欠席され

（山梨支部）  
（教養講座）  
山梨支部は、毎年11月に健康づくり事業として、教養講座（日帰りバスハイク）を開催しております。  
令和6年11月9日（土）に会員29名参加のもとウオーキング日和の中、碓氷峠第三橋梁（めがね橋）を訪れ紅葉の中を散策しアプト式鉄道の歴史を学びました。また、峠の釜めし発祥の「おぎのや横川店」での昼食時には現役時代の思い出話や近況等で盛り上がりしました。少林山達磨寺に参拝し記念撮影を行い、ガトーフェスタ・ハラダでの工場見学と家族へのお土産を買った。また、任期满了に伴う役員改



山梨支部 ゴルフコンペ



山梨支部 教養講座





和歌山支部 総会

た多田兵庫支部長に代わって前田業務部長より、それぞれ現況報告を含めた「挨拶をいただきました。」

議案審議では、令和5年度事業報告及び会計収支決算並びに会計監査報告が行われ、続いて令和6年度事業計画及び会計収支予算案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認されました。

その後、副支部長である社



和歌山支部 健歩会ハイキング

当日は、中岡支部（総会）長（OB会長）の挨拶の後、細野副支部長（OB会長）の挨拶が行われ、26日（水）に「広島ガーデナーズ」に

先立ち、前回の総会以降に亡くなられた当支部の会員5名の方々に、冒頭、物故者への黙祷を行い、続いて、古稀祝賀該当者の照会を行い、総会へと進み

山口支部 総会

山口支部 親睦ゴルフ

山口支部 総会



山口支部 総会

山口支部 親睦ゴルフ

山口支部 総会



山口支部 親睦ゴルフ

山口支部 総会

山口支部 親睦ゴルフ

山口支部 総会



宮崎支部 総会

宮崎支部 総会

宮崎支部 総会



兵庫支部 夏季総会

（和歌山支部）

令和6年6月19日、「ホテルグランヴィア和歌山」において、恒例の交歓会（総会終了後）を25名出席のもと開催しました。

当支部は交歓会を含め当県との社保OB会と合同で事業を実施しています。

会保険診療報酬支払基金金庫審査委員会幹事の発声をもって懇親会に移り、新たに会員となられた方々から、自己紹介を兼ねたご挨拶をいただきました。

和やかな雰囲気の中、互の親睦を深め合い、副支部長である日本年金機構谷口三宮年金事務所長の「主催はOB会」していただきます。

また、この度古希を迎えられた5名の方の紹介があり、当日出席された1名の方に祝詞と記念品が授与されました。

引き続き、懇親会に移り、小林支部長様の乾杯音頭から始まり、日本年金機構広島東年金事務所平本所長から日本年金機構の現状報告をしていただきました。

懇親会では、新たに会員になられた方を含め、和やかに歓談がされ、親睦を更に深めました。

楽しい歓談は、あつという間に予定の時間となり、藤村様のご挨拶の中締めのご挨拶で盛り上げた会裡にお開きとなりました。

冥福の念を込めて黙祷をささげました。

議事は、次第にそつと、令和5年度の事業報告及び収入支出決算並びに決算残金処分と会計監査報告、令和6年度事業計画及び収入支出予算案について、それぞれ審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。

続いて、本年度は役員改選の年というところで、現体制を継続する提案内容で承認可決されました。

また、この度古希を迎えられた5名の方の紹介があり、当日出席された1名の方に祝詞と記念品が授与されました。

引き続き、懇親会に移り、小林支部長様の乾杯音頭から始まり、日本年金機構広島東年金事務所平本所長から日本年金機構の現状報告をしていただきました。

懇親会では、新たに会員になられた方を含め、和やかに歓談がされ、親睦を更に深めました。

楽しい歓談は、あつという間に予定の時間となり、藤村様のご挨拶の中締めのご挨拶で盛り上げた会裡にお開きとなりました。



広島支部 総会

（長崎支部）

令和6年8月9日（金）セントリル長崎にて長崎支部総会及び令和6年度事業計画・予算案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認されました。

議案は、岩垣支部長の挨拶から始まり、日本年金機構山口年金事務所の中村所長よりご挨拶をいただきました。

続いて、議案の審議に入り、令和5年度事業・決算報告及び令和6年度事業計画・予算案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認されました。

日本年金機構長崎南年金事務所・懇親会を令和6年10月26日、全国健康保険協会・懇親会を令和6年10月26日、

れも原案どおり可決承認され、総会は無事終了いたしました。

総会終了後は、記念撮影の後、全国健康保険協会山口支部戸堀企画総務部長の乾杯の音頭で懇親会に移り、ビンゴゲーム等やかな雰囲気の中、会員相互の親睦を深め、盛会のうちに三戸副支部長の閉会のことばで、お互いの健康を祈りながら終了いたしました。

（親睦ゴルフ）

また、総会に先立ち、宇部72カントリークラブにおいて、会員親睦ゴルフ大会を開催し、7名の会員が参加し親交を深めました。

入賞者は次のとおり  
優勝 岩垣 勇  
準優勝 藤本 達也  
第三位 中野 威

また、毎年開催している社会保険倶楽部長崎支部親睦ゴルフ大会（稲佐マスターズ）は今年度も雨のため中止となりました。

なお、会員数は徐々に7名の方々に増加いたしました。最初に令和5年度の総会から本日総会までにお亡くなりになられた物故者会員2名の



長崎支部 総会

（8頁に続く）

支部だより

(7頁の続き) 御霊に黙祷を捧げ、その後、総会次第に沿って会の進行を行いました。

総会は、甲斐支部長から自己紹介と新規会員の勧誘のお願い等の挨拶ではじまり、次に、井上宮崎年金事務所長から最近の日本年金機構についての現況等の報告、並びに協会けんぽ宮崎支部保健グループ長の金丸様から、協会けんぽの現況等の報告をいただきました。

また、昨年の総会以降に新しく会員になられた3名の方を紹介した後、議事に入り、令和5年度事業実施報告及び決算報告、次に令和6年度事業計画及び予算(案)について報告しました。

最後に、議事終了後、名誉会員推挙及び古希の祝賀を行いました。名誉会員推挙には

寺田朋弘様と、長友健一郎様2名の披露が行われ、古希の祝賀には大崎正嗣様、甲斐義弘様、北原道広様3名の披露を行いました。

懇親会は、名誉会員になられました長友健一郎様の開宴挨拶及び乾杯に始まり、穏やかな雰囲気の中で歓談が続きました。久しぶりの再会もあって大盛況の中、あつという間に時間が過ぎていきました。最後に、高橋年金事務所長の永坂真一様の締めでお開きとし、盛会裡に終了しました。

叙勲受賞

(令和6年秋の叙勲) 霞が関支部会員のほうが受賞され、幸世世話人代表から祝電いたしました。(敬称略)

旭日重光章 水島 藤一郎 元(独)年金・健康保険協 社施設整理機構理事長/元

(特) 日本年金機構理事長 瑞宝中綬章 伍藤 忠春 元 厚生労働省雇用均等児童家庭局長

古稀礼状

霞が関支部 十菱 龍

猛暑日が続く中、それでも立秋を過ぎて、残暑見舞の季節となりました。 さて、過日は、私の古希に際しまして、お祝いの言葉と記念品をお送りいただき、誠にありがとうございました。

私の気持ちとしては、古希を過ぎてまだまだ青く、毎日が反省の日々です。健康維持に気をつけながら、セミリタイアメント後の気ままな毎日を楽しんでおります。

会員の皆様方の御健勝と会います。令和6年8月13日

Table with columns: 逝去年月日, 支部, 氏名, 享年, 逝去年月日, 支部, 氏名, 享年. Lists names and dates of members who have passed away.



謹賀新年 今年もよろしくお願いたします



株式会社 法研 代表取締役社長 東島 俊一 104-8104 東京都中央区銀座一ノ九ノ一

研友社印刷株式会社 代表取締役社長 加藤 直希 104-0061 東京都中央区銀座一ノ九ノ一

株式会社 研友流通 代表取締役社長 東島 俊一 351-0101 埼玉県和光市白子三ノ三五ノ一五

株式会社 社会保険研究所 代表取締役 谷野 浩太郎 101-8522 東京都千代田区内神田二ノ一五ノ九

株式会社 健康と年金出版社 代表取締役 菊地 均 231-0015 神奈川県横浜市中央区尾上町一ノ六

有限会社 こうねんサービス 代表取締役 平野 勤 151-0053 東京都渋谷区代々木二ノ三三ノ七

株式会社 研友企画出版 代表取締役社長 福田 雅人 104-0061 東京都中央区銀座一ノ九ノ一

株式会社 サンライフ企画 代表取締役 氏家 健太 101-0032 東京都千代田区岩木町二ノ一五

(一財) 社会保険協会 102-0083 東京都千代田区麹町三ノ五